

2012年7月14日 鳳凰三山②

Reported by 小野寺

朝 5:00。外は風と雨でざあざあ音がしている。今日はいよいよ地藏岳・観音岳・薬師岳の三山を目指す。



6:30AM

食事を終えたところで、雨が上がった！

出発前に、鳳凰小屋オーナーの細田氏を交え、パチリ☆

この細田倅一氏。

動植物写真集「山の詩」を出版し、「鳳凰山産甲虫類目録」(共著)を出す多才な方らしい。



いきなり林間の急登。

朝の冷氣と雨を心配して、雨具&ザックカバー装着で出発したが、15分後には雨具を片付けることになる。



キバナノコマノツメ
(タカネスミレとほとんど見分けがつかない)



樹林帯を抜け流砂の谷を渡ると、視界が拓けた。白砂の急斜面から地藏岳のオベリスクが望める。

ずるずると踏ん張りが利かない斜面で、横風も吹き、そこに見えているオベリスクまで、なかなか到達しない。



タカネグンナイフウロ



見よ、この足首の角度↑。

蹴り出すと1/3ズルッと後退するので、ベタ足で登る。



砂利場にも、お花がちらほら♪



ウラジロナナカマドは花盛り♪



8:10 オベリスクの麓に到着。



こんな大岩にかじりついて、オベリスクを目指す。



8:20 地藏岳(2764m)

オベリスクの元で。

カメラの三脚を忘れたが、カメラを石に挟んで
タイマー撮影なんとか成功(^^)v



今日はまだまだ先がある。撤収～。



賽の河原の子授け地蔵たち。



賽の河原を横切り、灌木の急登へ。



赤抜け沢ノ頭の登りにチョッピリ残雪。



「熊本さんがね、初日を頑張れって(ハアハア)。
 這ってでも登れば、後は楽チン(ハアハア)、
 2日目からは鼻歌でいけるよって、
 言ってたのよ(ハアハア)」

細い道の両脇で、高山植物が心和ませてくれる。



コケモモ



コイワカガミ



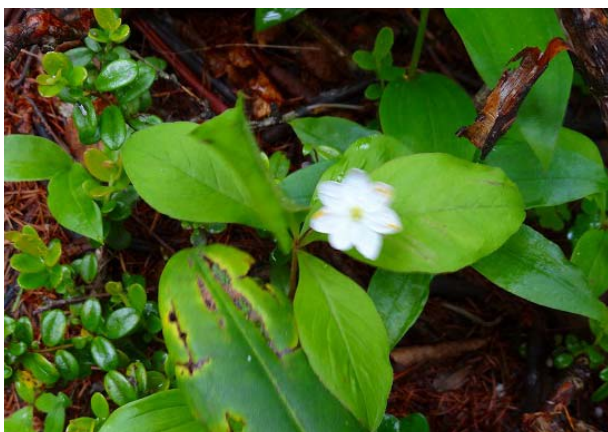
灌木を抜けたら、前方に観音岳が見えた。
大小の花崗岩を乗り越え、一旦下る。



ミヤマハンショウヅル(深山半鐘蔓)



タカネツメクサ？



ツマトリソウ



強風の中、頑張っているハイマツ。



振り返ると、赤抜け沢ノ頭(左)と地藏岳。

右手に残雪の残る北岳を望みながら、尾根道をひと登り。
北岳の上部は、終日雲に隠れていた。



ウラジロヨウラク？



ハクサンイチゲ



花崗岩のガレ場。
風が強い。



11:00

観音岳 (2840m) 到達！

鳳凰三山の最高峰だ。

←堀さん、タイマーぎりぎりセーフの図



観音岳からは、緩やかに下って薬師岳へ。

花崗岩の細かいガレ場、低いハイマツなどが生える道をとことこ下る。

晴れていれば360度の大展望と思われるが、今日は、近い山も上部は雲がかかり、遠くはぼんやりと山並みが見える程度。



11:45 薬師岳(2,780m) 山頂は広々。お～！雲の合間から、富士山！



砂払岳への途中の薬師岳小屋で昼食とする。



日清カップ麺 500 円也。温かいものが嬉しい。



笠雲も取れて、富士山、更にバッチリ☆



ガマの岩



【献立】 ご飯、味噌汁、鶏のカレーソース、キャベツ、ポテトサラダ、煮しめ、オレンジ一片。

13:40 南御室小屋、到着。

今日は3連休初日でもあり、宿泊者が多い。
外もカラフルなテントで満杯。

小屋は、収容70名+テント50張とあるが、その割にトイレ
が5つしかなく、朝に晩に列を為すこととなった。

寝所は2畳に3人とあったところ。

到着後、ビールとワインをちびちびやっているうちに、
17:30 に夕食。

20:00 消灯。明朝は 5:00 朝食だ。